

# 令和3年度九州ブロックにおける災害廃棄物処理計画作製及び改定支援等業務【改定支援】

本業務は、既に処理計画を策定済みの市町村に対して、近年の大規模水害等による新たな知見を加え、見直しを行うことで、より実行性の高い処理計画改定に資する支援を行い、災害時における自治体の対応力強化を図ることを目的として実施した。対象の18自治体に対し実施した災害廃棄物処理に関する事前アンケート結果や、（1）基礎データや状況の変化（2）廃棄物・リサイクル分野の気候変動適応に関する改定事項の検討（3）近年の災害に関する情報収集の3つを軸に検討を行い、被災自治体からのヒアリング結果や事務局で得た情報や知見等を加え改定計画（案）をまとめた。

## 対象自治体（18自治体）

県名	市町村名
福岡県	福岡市、大野城市、新宮町、みやこ町
佐賀県	伊万里市、鹿島市、小城市、玄海町
熊本県	八代市、人吉市、山都町、球磨村
大分県	大分市、日田市
宮崎県	新富町、門川町
鹿児島県	枕崎市、奄美市



実効的な災害廃棄物処理戦略を反映した処理計画の改定

災害廃棄物発生量及び処理可能量推計等の検討フロー

## 現行の災害廃棄物処理計画

### 現状との乖離をなくす

- ・対象市町村における基礎データ等の整理
- ・関係法令や指針等の改定、ブロック協議会の動向

### 処理計画の幅を広げる

- ・廃棄物、リサイクル分野の気候変動適応策の検討

### 処理計画を深掘りする

- ・近年の災害から得られた廃棄物処理に関する知見
- ・対象市町村への事前アンケートや説明会
- ・被災経験のある自治体へのヒアリングの実施

### 総合的な検証

- ・地域特性を踏まえているか
- ・適切な初動対応が可能か
- ・関係機関との連携がスムーズに行えるか
- ・気候変動対応が考慮されているか
- ・適正なリサイクル、処理フローが描けているか 等

## 処理計画改定案の作成

処理計画改定における検討内容と業務プロセスのイメージ